

ELECOM

PS/2 8ポート対応パソコン切替器

KVM-NP8

取扱説明書

エレコム株式会社

同梱品

次のものが同梱されているかどうかご確認ください。

本製品 KVM スイッチ × 1 台

AC アダプタ × 1 個

ユーザーマニュアル × 1 冊(本冊子)

保証書 × 1 冊(本冊子最終ページに印刷)

本製品には PC 接続ケーブルは含まれておりません。

万が一欠品もしくは破損が発見された場合は、お買い上げになった販売店にご連絡してください。

接続するデバイスにダメージをあたえたりしないために、ご使用前に本ユーザーマニュアルをよくお読みになってから正しい手順に従って、インストールと使用を行ってください。

目次

本製品の概要	4
特長	5
必要ハードウェア環境	6
コンソール側	6
パソコン側	6
ケーブル	6
はじめに	7
フロントパネル	7
リアパネル	8
本製品の導入手順	9
導入する前に	9
単体での導入	9
2段階(カスケード)での導入	10
3段階(カスケード)での導入	11
操作方法	13
ホットプラグ	13
電源オン/オフ	14
ポートセレクト	15
ポートID番号について	16
ID番号の見方	16
ポートキーの例	17
ホットキーリスト	17
OSDの使い方	18
OSDの概要	18
OSDナビゲーション	19
OSDメインメニュー見出し	20
ファンクションキー	20
メーカー初期設定	25
OSDセキュリティ	25
付録	26
KVM-NP8: パソコン接続リスト	26
トラブルシューティング	27
仕様	28
保証規定	29
製品保証書	31

本製品の概要

本製品は1組のコンソール(キーボード、モニター、マウス)で多数のパソコンにアクセスすることができるようにするコントロールユニットです。パソコン切替器が開発される前は、複数台のPCを1組のコンソールで操作することができる唯一の方法は、複雑でコストがかかるネットワークシステムの導入しかありませんでした。本製品を導入すれば、低コストで更にとっても簡単に2台以上のパソコンを操作できるようにします。

1台の本製品で、8台のパソコンまでコントロールすることができます。本製品は3段階までカスケード接続に対応し、73台の本製品を導入することにより、たった1組のコンソール(キーボード・ディスプレイ・マウス)を使用し、最大512台のパソコンをコントロールすることができます。

セットアップは簡単でスピーディです。ケーブルをそれぞれの適切なポートに接続します。ソフトウェアのインストールは不要で、複雑なプログラムのインストールも必要ありません。本製品はほとんどのキーボードのエミュレーションが可能なので、様々なDOS/V環境にも対応します。

本製品は、3通りの方法で接続されているパソコンを切換えることができます：(1)製品のフロントパネルにあるプッシュボタンで切換える方法、(2)キーボードからのホットキー組み合わせで切換える方法、(3)OSD(オンスクリーンディスプレイ)のメニューから選択し切換える方法があります。またオートスキャン機能で、接続されたアクティブな操作可能なパソコンを1台ずつ監視する機能も装備しています。

1組のコンソールですべての接続されたパソコンにアクセスし操作できることで、本製品は(1)それぞれのパソコンにキーボード、モニター、マウスを購入する費用を削減(2)スペースの有効利用(3)省電力(4)絶えず1台のパソコンからもう1台のパソコンに動くという労力を必要としなくなり、迅速なサーバーオペレーションを実現します。

特長

3段階までカスケード接続可能:1組のコンソールで最大512台のパソコンまでコントロール可能

ソフトウェアインストール不要:フロントパネルのスイッチ、ホットキー、OSD(オンスクリーンディスプレイ)によるパソコン選択可能

PS/2マウスのエミュレーション機能によりスムーズなパソコン切り替えが可能

コンソールのPS/2マウスですべての接続されているパソコンをコントロール可能

PS/2マウス完全対応:マイクロソフトのIntelli Mouse(2ボタン・3ボタン)、および互換マウスに対応*

SVGA・VGA対応のマルチシンクモニターに対応

高品質解像度;1920×1440;DDC;DDC2;DDC2B

ホットプラグ対応:接続済み全パソコンの電源をオフすることなく、パソコンの追加・取外しが可能

LED表示により、簡単に接続状態の監視が可能

19インチシステムラックマウント可能

*1.PS/2はホイール付きマウスに対応

必要ハードウェア環境

コンソール側

使用するパソコンの解像度に適した、VGA モニター。

PS/2 マウス

PS/2 キーボード

パソコン側

下記の設備はシステムに接続した、それぞれのパソコンにインストールされていなければなりません：

VGA 対応カードを備えていること。

ミニ DIN6 ピン (PS/2 スタイル) のマウスポートを備えていること。

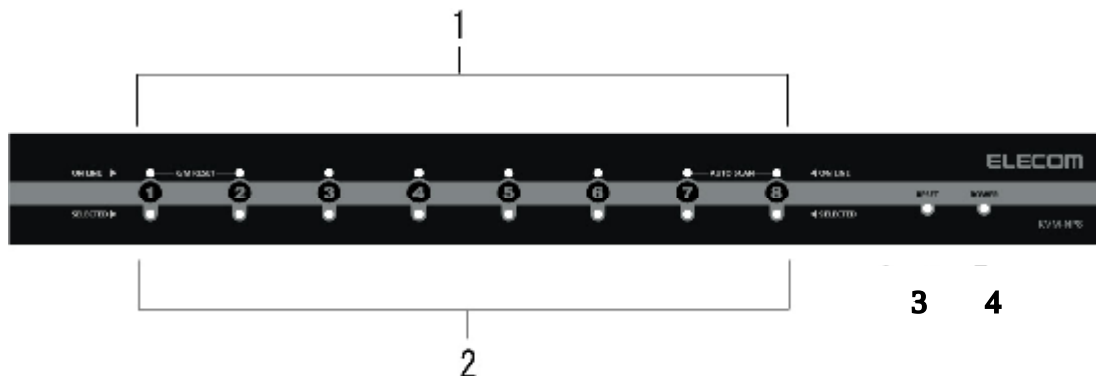
ケーブル

最適な状況で信号を転送し、すっきりとしたケーブルレイアウトが可能な下記の KVM-NPC シリーズケーブルセットをご使用になられることを推奨いたします：

KVM-NPC18(1.8m)、KVM-NPC30(3m)、KVM-NPC50(5m)

はじめに

フロントパネル



1.ポート LED

ポート LED はポートセレクトスイッチにあります。上の LED はオンライン LED で、下の LED はセレクトポート LED です：

オンライン: オレンジの LED ランプが点灯して、接続されているパソコンで電源がオンになっているものを示します。もし LED ランプが点滅している場合は、他の KVM スイッチにカスケードされて使用されていることを示します。

セレクト: グリーンの LED ランプが点灯して現在選択しているポートを示します。LED ランプが点灯している場合は、通常の場合で、LED ランプが点滅している場合は、アクセスしているポートがオートスキャンモードになっていることを示しています。

2.ポートセレクトスイッチ

電源がオンになっている接続されているパソコンを選択することができるスイッチです。

1と2のボタンを同時に3秒以上押すことにより、キーボードおよびマウスをリセットします。

7と8のボタンを同時に押すと、オートスキャンモードが始まります。

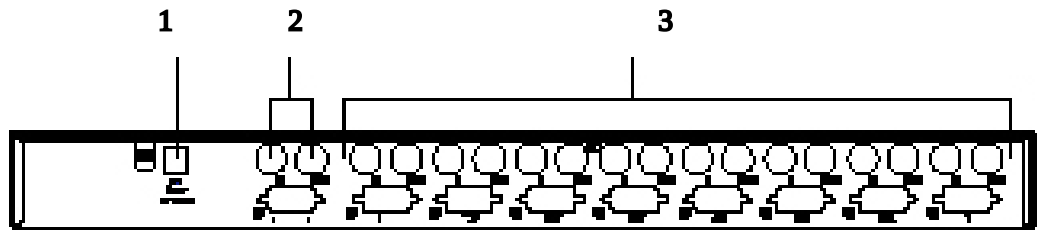
3.リセット

先の尖った物(例えば、ペーパークリップの先等)で凹んだスイッチを押してウォームブートリセットをしてください。もし3秒以上このスイッチを押し続けると、コールドブートリセットになります。

4.パワーLED

本製品の電源がオンの時は、LED ランプが点灯しています。

リアパネル



1. パワージャック

本製品は外部電源不要で動作するようにデザインされていますので、AC アダプタの接続は必要ありません。

ただし、カスケード接続時またはパソコンからの電源がユニットに十分に供給されず操作が不安定になっているときは、AC アダプタのケーブルを接続してください。

2. コンソールポート側

もし本製品が 1 段階のユニットの場合は、モニター、キーボード、マウスのプラグはここに差し込んでください。

もし本製品がカスケード接続のユニットの場合は、コンソールユニットのケーブルプラグをここに差し込んでください。

3. CPU ポート側

接続するパソコンからのプラグをここに差し込んでください。

本製品の導入手順

導入する前に



1. 接続を開始する前に、必ず、すべての接続機器の電源がオフになっていることを確認してください。
2. 本製品を導入される前に、パソコンやデバイスへのダメージを防ぐために、すべてのデバイスが正しくインストールされているかどうかご確認ください。

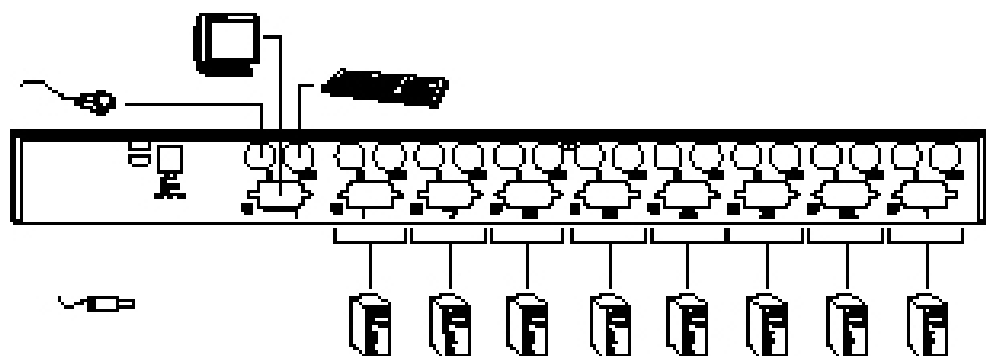
単体(カスケードなし)での導入

本製品を単体で使用する単体導入は以下のように行ってください:

1. 本製品のコンソールポートにキーボード、マウス、モニターのコネクタを差し込んでください。
2. 1台での導入では、パソコンをすべての CPU ポートに接続できます(1 ~ 8)。専用接続ケーブルセットを使用して、本製品の CPU ポートにキーボード、マウス、モニターをそれぞれ接続してください。
3. もし外部電源を使用される場合は、パワージャックに AC アダプタを接続してから、AC アダプタのプラグを電源コンセントに差し込んでください。



本製品が AC アダプタなしで動作しているときは、本製品の電源はキーボードとマウスケーブルを通して供給されます。もしパソコンのキーボードとマウスポートからの給電が5V に足りなく、3.3V の電圧しか供給されないときは(例えばノートブックパソコンの場合)、本製品への供給電力は十分でありませので、AC アダプタの接続が必要になります。



4. 各パソコンの電源をオンにしてください。

ご注意:もし AC アダプタを使用される場合は、パソコンの電源をオンにする前に、本製品に AC アダプタを接続してから、パソコンの電源をオンにしてください。

2 段階(カスケード接続)での導入

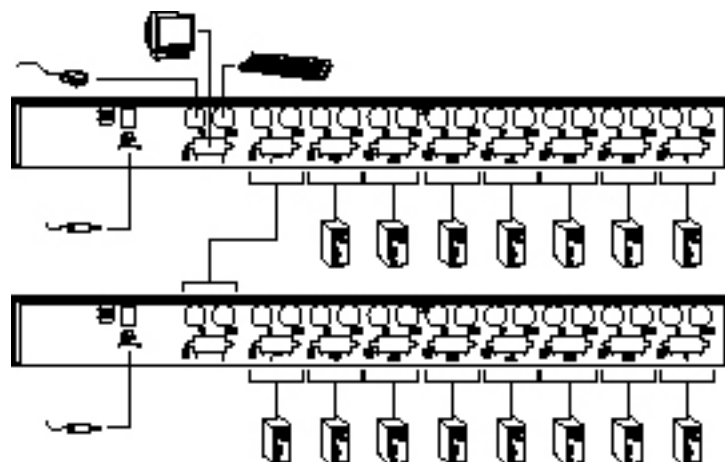
8 台の KVM-NP8 を 1 台目の KVM-NP8 の CPU ポートに接続して(この接続方法をカスケード接続と呼んでいます)、9 台以上のパソコンをコントロールすることができます。2 段階のカスケード接続で、64 台までのパソコンをコントロールすることができます。付録のページの表をご覧ください。パソコンの台数と KVM-NP8 がコントロール可能なパソコンの台数の関係が記載されています。

ご注意: 異なったパソコン切替器を用いてカスケード接続をされますとホットキーや OSD による CPU ポート切替時に問題が起きます。カスケード接続してご使用になる場合は、本製品(KVM-NP8)のみを使用されることを強く推奨いたします。

2 段階のカスケード接続の導入は以下のようです:

1. 接続を開始する前に、必ず、すべての接続機器の電源がオフになっていることを確認してください。(もし 1 台目の KVM-NP8 が AC アダプタを接続している場合は、1 台目の KVM-NP8 もプラグを抜いてください。)
2. 接続ケーブルセットを使用して、1 台目の KVM-NP8 の CPU ポートに 2 段階目の KVM-NP8 のコンソールケーブルを接続します。
3. 接続ケーブルセットを使用して、2 段階目の KVM-NP8 の CPU ポートに導入したいパソコンを接続してください。
4. 2 段階目の接続したいユニットに 2 ~ 3 を繰り返して行ってください。
5. 2 段階目の KVM-NP8 のパワージャックに AC アダプタのコネクタを接続してから、AC アダプタを電源のコンセントに差し込んでください。
6. 1 台目の KVM-NP8 の AC アダプタを差し込んでください。
7. すべてのパソコンの電源をオンにしてください。

ご注意: 電源をオンにする順序は、最初に 2 段階目の KVM-NP8 の電源を先にオンにします。2 段階目の KVM-NP8 の電源がすべてオンになってから、1 台目の KVM-NP8 の電源をオンしなければなりません。更に、2 段階目と 1 台目の KVM-NP8 がオンになってから、パソコンの電源をオンにします。



3 段階 (カスケード接続) での導入

3 段階での導入は 2 段階での導入と同じセットアップ方法です。

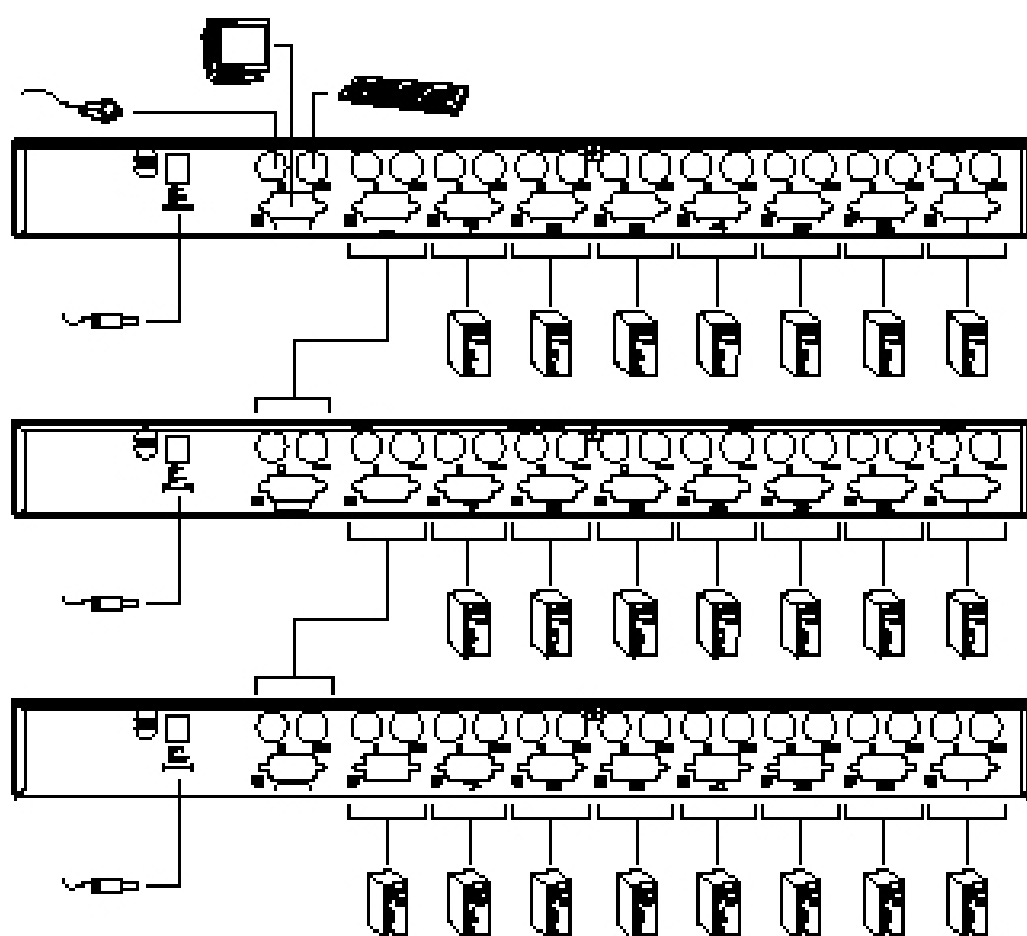
3 段階でのカスケード接続すれば、最大 512 台までのパソコンをコントロールすることができます。

ご注意: 本製品は 3 段階のカスケード接続までしかできません。

3 段階でのカスケード接続の導入は、以下の通りです:

1. 接続を開始する前に、必ず、すべての接続機器の電源がオフになっていることを確認してください(1 台目と 2 段階目のユニットの AC アダプタもすべて抜いてください)。
2. 接続ケーブルセットを使用して、2 段階目の KVM-NP8 の CPU ポートに 3 段階目のコンソールポートを接続してください。
3. 接続ケーブルセットを使用して、3 段階目の KVM-NP8 の CPU ポートに導入したいパソコンのキーボード・マウス・モニターのコネクタを接続してください。
4. 3 段階目の KVM-NP8 にステップ 1 ~ 3 を繰り返して行ってください。
5. それぞれの 3 段階目の KVM-NP8 のパワージャックに AC アダプタのコネクタを接続してから、AC アダプタを電源のコンセントに差し込んでください。
6. 2 段階目のすべての KVM-NP8 の AC アダプタを差し込んでください。
7. 1 台目の KVM-NP8 の AC アダプタを差し込んでください。
8. すべてのパソコンの電源をオンにしてください。

ご注意: 電源をオンにする順序は、最初に 3 段階目の KVM-NP8 を先にオンにします。3 段階目の KVM-NP8 の電源がすべてオンになってから、2 段階目の電源をオンしなければなりません。更に、2 段階目の KVM-NP8 がすべてオンになってから、1 台目の KVM-NP8 の電源をオンにしなければなりません。そしてすべての KVM-NP8 がオンになってから、パソコンの電源をオンにします。



操作方法

ホットプラグ

本製品はホットプラグに対応しています。そこでコンポーネントの取外しや追加が、KVM-NP8 の電源をオフする必要がなく、CPU ポートからケーブルを抜き差しするだけで可能です。ホットプラグを正しく作動させるには、下記のような順序で行ってください。

CPU ポートのホットプラグ:

CPU ポートからケーブルをホットプラグするとき:

1. ケーブルを抜いたその同じポートにケーブルをまた差し込む。
2. マウスケーブルはキーボードケーブルより先に差し込む。
3. ケーブルをもう一度差し込んだ後で、1 台目の KVM-NP8 の **Reset** スイッチを押してください。

コンソールポートのホットプラグ

KVM-NP8 はキーボード・モニター・マウスのホットプラグに対応しています。KVM-NP8 コンソールマウスポートにマウスを差し込むときは:

1. マウスのプラグを抜いて、もう一度同じマウスのプラグを差し込むと(例えば、マウスをリセットします)、すぐ同じマウスを使用できます。
2. もし異なった種類のマウスを差し込むと、すべてのマスタービュー、すべての接続されたパソコンを約 10 秒間シャットダウンしてから、再起動しなければなりません。

ご注意: ホットプラグの後で(または他の場合でも)、接続されているマウスもしくはキーボードが反応しなくなったときは、1 台目 KVM-NP8 のポートセレクトボタンの 1 と 2 を同時に 3 秒間押して、キーボードとマウスのリセットを行ってください。

電源オン/オフ

KVM-NP8 の 1 台の電源をオフにする場合は、以下の手順に従ってください:

1. KVM-NP8 に接続されたすべてのパソコンの電源をオフにして、それからカスケード接続されているすべての KVM-NP8 や全パソコンも電源をオフにします(すべての接続されている KVM-NP8 とそれらに接続されているすべてのパソコンを含みます)。

ご注意: KVM-NP8 が外部電源で動作している場合は、AC アダプタも抜かなければなりません。

2. 約 10 秒待ってから、本製品のカスケード接続された最後の段階の KVM-NP8 からプラグを差し込みます。電源をオフにしたときと同じ順序で電源をオンにしていきます。
3. すべての KVM-NP8 の電源がオンになった後で、接続された最後階層のパソコンから電源をオンにしていきます。電源をオフにしたときと同じ順序で電源をオンにしていきます。

ポートセレクト

本製品は導入したすべてのパソコンに3つの方法で簡単に切替える方法があります: 手動; ホットキー; OSD

手動切替

KVM-NP8 のフロントパネルにあるポートセレクトスイッチを押して切替えます。スイッチを押した後、セレクトスイッチの LED が点灯して現在選択しているポートを表示します。OSD では自動的に選択したパソコンに、ハイライトが切替わります。

ご注意: 1. カスケード接続が導入されているときは、切替えたいパソコンに直接接続されている KVM-NP8 のポートセレクトスイッチを押さなければなりません。

2. 1 階層目にある KVM-NP8 でポートセレクトスイッチの 7 と 8 を同時に押すと、OSD のオートスキャン機能が始まります。それぞれのポートに費やす時間は、OSD 画面で設定されたスキャン時間によります。

ホットキーナビゲーション

ホットキーナビゲーションは、手動でポートセレクトスイッチを選択することなく、キーボードから直接どのパソコンにでも切替えることができます。ホットキーによるポート選択の方法は以下のとおりです:

1. [Ctrl] [Alt] [Shift] を順番に押すと、ホットキー機能をスタートできます。
2. ポート ID 番号を打ち込んで (ポート ID 番号についてはこの後のポート ID 番号についてのセクションを参照)、[Enter] を押します。

ご注意: 1. 連続してキーを押してください。最初に [Ctrl]、その後 [Alt] それから [Shift] をタイミングよく押してください。

2. [Ctrl] [Alt] [Shift] を順番に押すことでホットキー機能をスタートした後で、ポート ID 番号、[Enter] をそれぞれ 1 秒以内に押してください。

OSD

OSD (オンスクリーンディスプレイ) はユニットに接続されたパソコンの切替えが、順序を追って取り扱えるようにできるインターフェイスメニューです。OSD 操作はこの後、詳しく説明しています。

ポート ID 番号について

ID 番号の見方

本製品で導入されたそれぞれの CPU ポートはユニークなポート ID 番号が決められています。ホットキー選択あるいは OSD メインメニューのどちらの方法でも、接続されたパソコンの CPU ポートのポート ID 番号で、どの段階に導入されたパソコンにでもダイレクトに切替えることができます。

ポート ID 番号は3桁の数字で表示されます。

最初の数字は第1階層目の CPU ポート番号を意味しています。2番目の数字は、第2階層目の CPU ポート番号を意味しています。3番目の数字は第3階層目の KVM-NP8 の CPU ポート番号を意味しています。

例1: 最初の階層の KVM-NP8 に接続されたパソコンは一桁のポート ID 番号があり(1 ~ 8)、パソコンに接続された CPU ポート番号と同じです。

例2: 2 階層目に接続されているパソコンは二桁のポート ID 番号があります。

最初の数字は、第 1 階層目(コンソールにもっとも近い KVM-NP8)の CPU ポートを意味していて、2番目の数字はその第 2 階層目の KVM-NP8 の CPU ポートを意味しています。

例3: ポート ID 番号が **23** ならば、**第1段階の KVM-NP8 では CPU ポート 2** につながれ、**2 段階目の KVM-NP8 では CPU ポート 3** に接続されているパソコンを表しています。

例4: 3 段階目のユニットに接続されたパソコンは三桁のポート ID 番号があります。例えば、ポート ID が **241** ならば、コンソールのつながっている KVM-NP8 では、CPU ポート 2 につながれ、2 段階目の KVM-NP8 では CPU ポート 4 に接続され、第3段階目の KVM-NP8 では CPU ポート 1 につながれたパソコンを意味します。

ポートキーの例

1. ユニットが1台のみの導入で、ポート3に接続されたパソコンに切替えるとき、ポートID番号の**3**を以下のように打ち込みます：

[Ctrl] + [Alt] + [Shift] 3 [Enter]

[Ctrl] [Alt] [Shift] は、一つずつ順番にタイミングよく押してください。

2. 第1階層のユニットではポート2に接続され、第2段階層目ではポート3にカスケード接続されたパソコンに切替えるとき、ポートIDの**23**を以下のように打ち込みます：

[Ctrl] + [Alt] + [Shift] 23 [Enter]

[Ctrl] [Alt] [Shift] は、一つずつ順番にタイミングよく押してください。

ご注意：番号を打ち込むときは一度に続けて打ち込んでください。

3. 最初の段階のユニットではポート2にカスケード接続され、2番目の段階ではポート4にカスケードされ、3番目の段階ではポート1に接続されたパソコンに切替えるとき、ポートIDの**241**を以下のように打ち込みます：

[Ctrl] + [Alt] + [Shift] 241 [Enter]

[Ctrl] [Alt] [Shift] は、一つずつ順番にタイミングよく押してください。

ホットキーリスト

組み合わせ	結果
[Ctrl] + [Ctrl]	OSD スタート(初期設定)
[Scroll Lock] + [Scroll Lock]	OSD スタート(変更可能)
[Ctrl] + [Alt] + [Shift] [ポートID] [Enter]	ポート ID 番号に一致したパソコンに切替わる(上記例を参照)
[Ctrl] + [Alt] + [Shift] [0] [Enter]	オートスキャンモードがスタート

”+”は、順番に押していくことを表す。

OSD の使い方

OSD の概要

OSD(オンスクリーンディスプレイ)は KVM-NP8 に接続されたパソコンの切替が、順序を追って取り扱えるようにできるインターフェイスメニューです。

特に、大きなシステムでカスケード接続を取り入れている場合などに、非常に便利です。

すべての操作はOSDのメインメニューからスタートします。メインメニューを表示させるには、同じ側の **Ctrl** キーを2回押します。

ご注意: 1.キーは同じ側のキーを押さなくてはなりません(例えば、2回とも右側または2回とも左側)。

2.任意に Scroll Lock キーにホットキーを変えることもできます。その場合は、[Scroll Lock] キーを2回押してください。

OSD をスタートすると、下記と同様な画面が表示されます:

PN	QV	PG	NAM
2-5	■	+	ABC
2-6	■	+	XYZ
2-7			
2-8			
3			
4			
5-1			
5-2			

F1	F2	F3	F4	F5	F6
GOTO	SCAN	LIST	QV	EDIT	SET

OSD は常に最後に閉じた同じポジションにハイライトバーがついたリストから表示されます。

次の2つのセクションでは、どのように OSD とホットキーを使用するかを説明していきます。

OSD ナビゲーション

[Esc] キーは現在の選択をキャンセルするか、または現在のメニューから出て1つ上のレベルのメニューに戻ります。もし現在、メニューの一番高いレベルなら、OSD を閉じます。

上・下の矢印を使用するかまたは上・下の三角のマーク (▲ ▼) をクリックして、一度に1つのスクリーンのリストを上下に移動することができます。

[Page Up]・[Page Down] キーを使用するか、または上下の矢印のマーク (↓ ↑) をクリックして一度に1つのスクリーンのリストを上下に移動することができます。

選択可能なポートで[Enter] キーを押すと、ハイライトバーが移動します。

どんなアクションでも実行した後は、自動的に1つ上のレベルにメニューが戻ります。

OSD メインメニュー見出し

見出し	説明
PN	この数字の列は接続されたすべての CPU ポートのポートID 番号(ステーション番号:ポート番号)をリストにしたものです。一番簡単に指定したパソコンに切替える方法は、ハイライトバーを切替えたいパソコンに移動し、[Enter]キーを押します。
QV	もしポートが既にクイックビュースキャンで選択されているなら(以下の F2 と F4 の説明を参照)、三角のマークがこの列に表示されています。
PC	電源がオンでオンラインのすべてのパソコンが表示されています。
NAME	もしポートに名前が付けてあるなら(以下の F5 の説明を参照)、この列に名前が表示されます。

ファンクションキー

ファンクションキーを押すことによって、OSD を構成し、コントロールするのに使用されているサブメニューを呼び出せます。例えば、速やかにポートを切替える;選択したポートのみスキャンする;見たいリストだけに制限する;クイックビュースキャンのポートを指示する;ポートの名前を作成または編集する;OSD 設定を調節することができます。

F1 (Go To 機能):

Go To には以下のような二通りの方法のどちらかで直接切替えるポートを選択することができます:

1. 切替えたいポートにハイライトバーを移動して[Enter]キーを押します。
2. ポートID 番号または名前を入力して、それから[Enter]キーを押します。

ご注意: Go To は文字列を打ち込むと、選択可能リストを表示する特長があります(インクリメンタルサーチ)。例えば、最初の文字を a と入力したとしたら、リストの中で名前が **a** から始まるものしか表示しません。もし次の文字が b と入力したら、ポートの名前が **ab** で始まるものしか表示しません。

選択をしないで OSD のメインメニューに戻るには、[Esc]キーを押してください。

F2 (Scan 機能):

[F2]キーを押すとリストビュー(下記のF3を参照)にある現在選択したすべてのポートを OSD は繰り返しずっとクイックビュースキャン(オートスキャン)を始め、F6(Set 機能)で、スキャン時間の設定で設定した時間、それぞれのポートを表示します。

特定のところでストップしたいときは、[Space]キーを押してスキャンをストップできます。

ご注意: 1.もし接続されていない、またはパソコンの電源がオフのポートでスキャンがストップした場合、モニターのスクリーンには何も表示されません。元の状態に戻すには、接続されたアクティブなパソコンのポート ID の数字を入力してください。

2.クイックビュースキャンモードの下で、スペースバーを押して、スキャンをストップした際、が表示されます。

F3 (List 機能):

このファンクションキーは OSD リストに表示させるポートの範囲を調整します。サブメニューの選択と意味は以下の表のようになります。

選択	意味
ALL	接続されたすべてのポートのポート ID 番号と名前(もし特別な名前を付けていたとしたら - F5 を参照)のリスト
QVIEW	クイックビュースキャン(F4 を参照)を選択しているポートのリストのみ
POWERED ON + QVIEW	クイックビュースキャン(F4 を参照)を選択しているポートでまたパソコンが電源オンのリストのみ
QVIEW + NAME	クイックビュースキャン(F4 を参照)を選択しているポートでまた名前(F5 を参照)が付けられているリストのみ
NAME	名前(F5 を参照)が付けられているポートのリストのみ
POWERED ON	接続されたパソコンの電源がオンのポートのリストのみ

選択したいポートにハイライトバーを移動して、それから [Enter] キーを押してください。選択する前にアイコンが現われ、現在選択したポートを示しています。

ご注意: 1.ナビゲーションキーを使用すると、どのリストのどのポートにも切替えることができ、それから [Enter] キーを押してください。

2.もし選択したポートにパソコンが接続されていない場合、もしくは接続されたパソコンが電源オフの場合でも、切替が可能です。また、その際エラーは表示されません。

F4(QV 機能):

QV はクイックビュースキャン機能(F2 参照)の下で自動的にスキャンするポートを選択することができます。

ハイライトを選択したいパソコンにあわせ、[F4]キーを押してください。

ポートが既にクイックビュースキャンに選択されているときは、三角のマークがQVの欄に表示されています。ポートが選択されていないときは、三角のマークは表示されていません。

F5 (Edit 機能):

それぞれの CPU ポートに対して、名前が付けられます。

Edit の機能は、CPU ポートの名前を作成・修正・削除ができます。ポートの名前を編集するには:

1. 編集したいポートにまでハイライトバーを移動します。
2. [F5]を押します。
3. 新しいポートの名前を入力するか、または古い名前を修正/削除します。
ポートの名前に使用できる文字数の最大数は、15 文字までです。
適している文字は以下のものです:

すべてのアルファベット:**a - z; A - Z**

すべての数字:**0 - 9**

+ , - , / , : , . , スペース

全て大文字で表示されます。

4. 編集が終了したら、[Enter]キーを押して、変更を有効にしてください。
変更を無効にしたい場合は、[Enter]の代わりに、[Esc]キーを押してください。

F6 (Set 機能):

[F6]キーを押すと、OSD の構成メニューを呼び出し、設定を変更することができます:

1. 選択したいポートにハイライトバーを移動して、[Enter]キーを押します。
2. 次に表示されたサブメニューに、選択したいポートにハイライトバーを移動して [Enter]キーを押します。

ポインタのアイコンは、現在選択されているのがどのポートであるかを示しています。選択についての説明は下記のリストのようになっています:

設定	機能
チャンネル表示モード (CHANNEL DISPLAY MODE)	ポートの表示を変更します: ポート番号 + CPU の名前 (PN + NAME) ; ポート番号のみ (PN); CPU の名前のみ (NAME)
チャンネル表示時間 (CHANNEL DISPLAY DURATION)	ポート ID の番号を CPU のポートを変更してから、どのくらいの間表示するか決めます: 3 秒; 常にオン
チャンネル表示ポジション (CHANNEL DISPLAY POSITION)	スクリーン上のどの位置にポート ID を表示するか決めます。矢印、Page Up、Page Down、Home、End、5 (Num Lock をオフにしたテンキー) を使用して、ポート ID 表示の位置を移動して、[Enter] キーを押して位置を固定し設定のサブメニューに戻ります。
スキャン継続時間 (SCAN DURATION)	クイックビュースキャンモードで選択したポートに循環し、それぞれ何秒表示するか決めます。オプションは: 3,5,10,15,20,30,40,60 秒
ホットキーで OSD をアクティブにする (OSD ACTIVATING HOTKEY)	OSD 機能をどのホットキーでアクティブにするかの選択です: [Ctrl] [Ctrl] または [Scroll Lock] [Scroll Lock] 。初期設定では Ctrl キーの組み合わせになっていますが、この組み合わせではパソコンのプログラムの作動中にコンフリクトを起こす場合は、Scroll Lock キーのオプションを使用するように変更してください。

設定	機能
パスワードの設定 (SET PASSWORD)	以下のことをコントロールするために、パスワードを設定することができます : Name List の消去 ; 初期設定値を元に戻す ; コンソールのロックまたはアンロック。後出の OSD セキュリティ仕様のセクションにあるパスワードの設定で詳細をご覧ください。
名前のリストを消去 (CLEAR THE NAME LIST*)	名前のリストからすべてのポートの名前を消去します。名前を消去するのを実行する前に、確認のメッセージが出ます。Y のキーを入力して [Enter] キーを押すと、名前のリストを消去します。名前を消去している間、消去していることを示すメッセージが表示されます。名前が消去された後、消去に成功したことを示す別のメッセージが表示されます。
初期設定値を元に戻す (RESTORE DEFAULT VALUES)	すべての設定をメモリーから消去し、ユニットをメーカーからの初期設定に戻します (P.22 を参照)。初期設定に戻す前に、確認のメッセージが出ます。Y のキーを入力して [Enter] キーを押すと、初期設定に戻ります。設定を消去している間、消去していることを示すメッセージが表示されます。設定が消去された後、消去に成功したことを示す別のメッセージが表示されます。
コンソールロック (LOCK CONSOLE*)	コンソールをロックまたはアンロックします。コンソールをロックすると、現在選択されているモニターのスクリーンのみが表示されます。コンソールで情報を入力しようとしても何の効果もなく、コンソールまたは手動切替スイッチを押して他のポートに切替えようとしても切替えられなくなります。再度、パソコンにアクセスするにはコンソールのアンロックしか方法はありません。パスワードが設定されている場合、コンソールロックまたはアンロックをするには、パスワードを入力しなければなりません。またパスワードが設定されていない場合は [Enter] キーを押すと、コンソールをロックまたはアンロックします。

*もしパスワードが設定されている場合、設定画面にアクセスできるようにするためにはパスワードの入力が必要です。詳細は OSD セキュリティのセクションにて詳細をご覧ください。

メーカー初期設定

メーカーの初期設定は以下のとおりです：

設定	初期設定
表示持続時間 (Display Duration)	常にオン
表示モード (Display Mode)	ポート番号 + ポートの名前
スキャン継続時間 (Scan Duration)	3 秒間

OSD セキュリティー

KVM スイッチを導入したシステムに第3者がアクセスするのを防ぐために、OSD にはパスワードによるセキュリティー機能があります。

パスワードが既に設定されている場合、KVM-NP8 はユーザーが OSD を利用しようとする前に、パスワードを入力を要求します。パスワードの設定は以下の通りです：

1. [F6] キーを押して設定構成のメニュー画面を表示させます。
2. ハイライトバーをパスワードの設定(Set Password)まで移動して、[Enter] キーを押します。
3. 新しいパスワードを入力して、[Enter] キーを押します。
パスワードは8文字までの長さで、文字と数字の組み合わせでなければなりません(A-Z, 0-9)。
4. 新しいパスワードが正しいかどうか確認のため、もう一度入力して、[Enter]を押します。
2 回のパスワードが同じだった場合、新しいパスワードが承認され、画面に次のようなメッセージが表示されます：

SET PASSWORD OK

パスワードの入力が間違っていた場合、画面に次のようなメッセージが表示されます：

PASSWORD NOT MATCH

本メッセージが表示された場合は、最初からもう一度やり直してください。

ご注意：以前のパスワードを修正したり、削除したりするには、ステップ1と2のパスワード機能設定にアクセスして、Backspace キーか Delete キーを使用して、それぞれの文字または数字を消してください。

付録

KVM-NP8: パソコン接続リスト

以下のリストは KVM-NP8 の数字とコントロールしているパソコンの数字の関係を示しています:

KVM-NP8 の数	コントロール できるパソコン の数	KVM-NP8 の数	コントロール できるパソコン の数	KVM-NP8 の数	コントロール できるパソコン の数	KVM-NP8 の数	コントロール できるパソコン の数
1	8	20	134-141	39	267-274	58	400-407
2	8-15	21	141-148	40	274-281	59	407-414
3	15-22	22	148-155	41	281-288	60	414-421
4	22-29	23	155-162	42	288-295	61	421-428
5	29-36	24	162-169	43	295-302	62	428-435
6	36-43	25	169-176	44	302-309	63	435-442
7	43-50	26	176-183	45	309-316	64	442-449
8	50-57	27	183-190	46	316-323	65	449-456
9	57-64	28	190-197	47	323-330	66	456-463
10	64-71	29	197-204	48	330-337	67	463-470
11	71-78	30	204-211	49	337-344	68	470-477
12	78-85	31	211-218	50	344-351	69	477-484
13	85-92	32	218-225	51	351-358	70	484-491
14	92-99	33	225-232	52	358-365	71	491-498
15	99-106	34	232-239	53	365-372	72	498-505
16	106-113	35	239-246	54	372-379	73	505-512
17	113-120	36	246-253	55	379-386		
18	120-127	37	253-260	56	386-393		
19	127-134	38	260-267	57	393-400		

トラブルシューティング

症状	原因	処置
動作が不安定な場合	ユニットがセルフパワーの操作のため、電力が不十分	ユニットに付属のパワーアダプタを外部電源として使用してください。
ホットキーを押しても、反応がない場合	選択したポートからのターゲットパソコンへの接続が壊れているか、またはパソコンがオフになっている	選択したポートの LED 表示がオンライン表示になっているか確認します。もし、なっていない場合： 1. 接続されたパワーオンのパソコンの1台に手でセレクトスイッチを押します。 2. ケーブルがすべて正しく接続されているかどうか確認してください。
	対応していないキーボードのリセットが必要	1. 1段階のユニットで1と2のボタンを同時に3秒間押してキーボード(マウス)をリセットしてください。 2. コンソールのキーボードポートからキーボードのコネクタを抜き、それからもう一度差し込んでください。
	対応していない KVM-NP8 のリセットが必要	KVM-NP8 の電源をオフにして、5 秒間待ちます。それから再び電源をオンにします。P11 の電源オフとオンのところを参照してください。
	ポート ID の不正確な入力	[Ctrl] + [Alt] + [Shift] キーの組み合わせでホットキー機能をスタートさせ、ポート ID を入力し、[Enter] キーを押します。それぞれのキー入力間隔は1秒以内で行ってください。
マウスが反応しない場合	対応していないマウスのリセットが必要	1. 1段階のユニットで同時に1と2のボタンを3秒間押して、マウス(キーボード)をリセットしてください。 2. コンソールのマウスポートからマウスのコネクタを抜いて、それからもう一度差し込んでください。

仕様

機能		仕様
パソコン接続数	ダイレクト接続	8 台
	最大接続数	512 台 (カスケード接続)
ポート選択		フロントパネルスイッチ ホットキー オンスクリーンディスプレイ (OSD)
LED	パワー	1 (ブルー)
	オンラインポート	8 (グリーン)
	選択ポート	8 (オレンジ)
コンソール用 コネクタ	キーボード用	ミニ DIN6 ピンメス(PS/2 スタイル) × 1 コンソール側 ミニ DIN6 ピンメス(PS/2 スタイル) × 8 CPU ポート側
	マウス用	ミニ DIN6 ピンメス(PS/2 スタイル) × 1 コンソール側 ミニ DIN6 ピンメス(PS/2 スタイル) × 8 CPU ポート側
	モニター用	ミニ D - sub15 ピンメス(std.VGA/ SVGA) × 1 コンソール側 ミニ D - sub15 ピンオス(std.VGA/ SVGA) × 8 CPU ポート側
スキャンインターバル (OSD 選択)		3、5、10、15、20、30、40、60 秒
電源仕様		DC9V; 1.98W (最大)
動作温度範囲		5 ~ 40
保存温度範囲		- 20 ~ 60
湿度		0 ~ 80 %RH
ケース材質		メタル
重量		約 1,995 g
外形寸法		約 432.2 (W) × 約 154 (D) × 約 44 (H) mm

保証規定

■ 保証内容

取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容に基づき無償修理いたします。

■ 無償保証範囲

製品が故障した場合、お客様は保証書に記載された保証期間内において、弊社に対し無償修理を依頼することができます。

ただし下記の場合、弊社は無償修理を承れません。

- (1)保証書をご提示いただけない場合。
- (2)保証書に販売店印ならびに購入年月日の記載がない場合。
- (3)保証書が弊社から発行した保証書でない場合、または偽造・改変などが認められた場合。
- (4)弊社より発行した保証書と認められない程に破損・汚れが付着している場合。
- (5)故障した製品をお送り頂けない場合。
- (6)弊社が動作を保証するとして指定した機器以外でご使用したために故障または破損した場合。
- (7)お客様の過失により本製品が故障または破損した場合。
- (8)火災・水害など天変地変および静電気などの異常な電圧などの外的要因により故障または破損した場合。
- (9)消耗部品の自然な消耗・劣化により故障した場合。
- (10)輸送中の振動・落下により故障した場合。
- (11)一般家庭用以外(例えば業務用)での使用による故障または破損した場合。
- (12)その他、弊社の判断に基づき、無償保証が認められない場合。

■ 修理

修理のご依頼時には製品をお買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターにご送付ください。

(修理センターへのご依頼は弊社ホームページをご覧ください <http://www.elecom.co.jp>)
紛失等のトラブルを防ぐため、必ず受領確認の取れる宅配便でご送付ください。封書、郵便小包等の郵送は固くお断り申し上げます。

なお輸送中の事故については弊社にて責任を負いかねます。

また弊社修理センターにご送付頂く際の送料はお客様にてご負担願います。あらかじめご了承ください。

修理は、弊社の判断に基づき、部品の交換または製品の交換により行います。

弊社において修理が困難と判断した場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象製品と同等の製品との交換で対応する場合がございます。

万が一修理が不可能で、部品および同等の製品が手に入らない場合は、ご希望に添えない場合があります。

保証期間が過ぎた場合または無償保証が適用できない場合は有償修理を承ります。

有償、無償にかかわらず修理により交換させていただいた旧部品は、弊社にて今後の品質向上のため、解析させていただきますのでご返却できません。

■ 免責事項

お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、損害賠償責任は購入金額を限度といたします。

弊社における保証は本製品の機能に関する保証のみに限ります。弊社瑕疵にもとづく本製品以外の責には応じません。

また記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

■ 有効範囲

本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

製品保証書

この製品保証書は、製品保証規定に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

保証書	
型番	KVM-NP8
シリアルナンバー	
保証期間	(ご購入日) 年 月 日 より12ヶ月間 ?
ご氏名	ふりがな
ご住所	〒 TEL : e-mail :
ご購入店	販売店名・住所・TEL

販売店様へ...お手数ですが 印の欄へ必ずご記入くださいますようお願いいたします。

保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印、または領収書が無い場合は、有償扱いとなりますのでご了承ください。